

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 18 年 7 月 31 日

会社名 東洋合成工業株式会社 (JASDAQ・コード番号：4970)  
 (URL <http://www.toyogosei.co.jp/>)  
 代表者 代表者役職 代表取締役社長  
 氏名 木村 正輝  
 問い合わせ先 責任者役職 取締役経理部長  
 氏名 三代川 雅人 TEL : (047)327-8080 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 法人税等の計上基準及びその他一部に簡便な方法を採用しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	3,022	(3.5)	260	(△20.5)	289	(△0.8)	171	(△1.7)
18年3月期第1四半期	2,921	(△2.7)	327	(△45.7)	291	(△48.3)	174	(△47.9)
(参考)18年3月期	12,699		1,149		979		642	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	21	12	—	—
18年3月期第1四半期	21	47	—	—
(参考)18年3月期	73	96	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期における売上高は、主力の感光材事業は、液晶パネルの在庫調整が一部に見られたことや、販売価格低下により同部門の売上高は前年同期と比較し減少いたしました。一方で、溶剤リサイクル事業では、VOC 排出規制等の環境問題の高まりにより市場ニーズが拡大し、香料事業では、前年 4 月のオランダロッテルダム物流拠点設置効果などを背景に、両部門とも積極的な営業展開を実施した結果、前年同期と比較し、売上高は伸長いたしました。また、ロジスティック事業は前期に引続き高稼働率を維持し前期と同水準の売上高を確保いたしました。以上の結果、当社全体の売上高は 3,022 百万円（前年同期比+3.5%）となりました。

損益面では、生産性向上や経費削減に努めたものの、設備投資実施による減価償却費の増加並びに原油高の影響による原材料費や燃料費等の増加、また、研究開発強化による研究開発費の増加などもあり営業利益は 260 百万円（前年同期比△20.5%）となりました。また、研究開発に対する補助金収入の計上により経常利益は 289 百万円（前年同期比△0.8%）、四半期純利益は 171 百万円（前年同期比△1.7%）となりました。

## (2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	28,087	8,246	29.4	1,012	62
18年3月期第1四半期	23,949	7,759	32.4	953	03
(参考)18年3月期	26,085	8,226	31.5	1,005	50

## [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末におきましては、前年同四半期に比べて、総資産は4,138百万円増加し28,087百万円となり、負債合計は3,651百万円増加し19,841百万円となり、純資産は487百万円増加し8,246百万円となりました。資産の増加は、有形固定資産の増加等によるもので、負債の増加は、短期借入金の増加等によるものであります。この結果、当四半期末時点での自己資本比率は、前年同四半期の32.4%から29.4%になりました。

## [業績予想に関する定性的情報等]

平成18年5月29日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

(参考)平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(百万円未満切り捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	6,900	420	240
通期	14,200	820	470

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 57円72銭

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在における計画・見通しに基づく予測であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 〔添付資料〕

## 1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	2,054	1,607	446	27.8	1,589
受取手形及び売掛金	3,243	2,818	425	15.1	2,889
たな卸資産	4,936	4,112	823	20.0	4,345
その他	239	250	△11	△4.5	319
流動資産合計	10,473	8,789	1,683	19.2	9,144
II 固定資産					
有形固定資産	16,473	14,098	2,374	16.8	15,801
無形固定資産	191	239	△48	△20.1	158
投資その他の資産	949	821	128	15.6	982
固定資産合計	17,614	15,160	2,454	16.2	16,941
資産合計	28,087	23,949	4,138	17.3	26,085
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	2,078	1,850	227	12.3	2,208
短期借入金	9,254	7,417	1,836	24.8	6,864
その他	2,809	2,106	703	33.4	2,543
流動負債合計	14,142	11,374	2,767	24.3	11,616
II 固定負債					
長期借入金	4,660	3,839	820	21.4	5,212
その他	1,038	976	62	6.4	1,029
固定負債合計	5,699	4,815	883	18.4	6,242
負債合計	19,841	16,190	3,651	22.6	17,859
(資本の部)					
I 資本金	—	1,618	—	—	1,618
II 資本剰余金	—	1,541	—	—	1,541
III 利益剰余金	—	4,519	—	—	4,889
IV  その他有価証券評 価差額金	—	79	—	—	177
V 自己株式	—	△0	—	—	△0
資本合計	—	7,759	—	—	8,226
負債及び資本合計	—	23,949	—	—	26,085

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本		—	—	—	—
資本金	1,618	—	—	—	—
資本剰余金	1,541	—	—	—	—
利益剰余金	4,923	—	—	—	—
自己株式	△0	—	—	—	—
株主資本合計	8,082	—	—	—	—
II 評価・換算差額等 その他有価証券評価 差額金	163	—	—	—	—
評価・換算差額等 合計	163	—	—	—	—
純資産合計	8,246	—	—	—	—
負債及び純資産合 計	28,087	—	—	—	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	3,022	2,921	101	3.5	12,699
II 売上原価	2,284	2,146	138	6.5	9,671
売上総利益	738	775	△37	△4.8	3,027
III 販売費及び一般管理費	477	447	30	6.7	1,877
営業利益	260	327	△67	△20.5	1,149
IV 営業外収益	90	27	63	236.4	79
V 営業外費用	62	63	△1	△1.7	249
経常利益	289	291	△2	△0.8	979
VI 特別利益	—	—	—	—	27
VII 特別損失	2	0	2	9,892.4	14
税引前四半期(当期)純利益	286	291	△4	△1.7	992
税金費用	114	116	△1	△1.7	350
四半期(当期)純利益	171	174	△2	△1.7	642

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。